

【本年度のスローガン】
 「笑顔ですすんで行動する」子ども
 「厳しさ」と「笑顔」のある職員集団
 キーワード → 「交流」

学校教育目標
 「共に学び合い、心豊かにたくましく生きぬく子どもの育成」

【本年度の取組の重点】

- ◆ 確かな人権感覚を育む人権教育の推進
人権・同和問題をはじめとする様々な人権に関する課題解決に向けた取組を推進する（人権カリキュラムの実践等）
- ◆ 個々の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進
- ◆ 確かな学力の向上と自信をもたせる指導の充実
- ◆ 基本的な生活習慣の向上と望ましい集団づくりの推進
- ◆ 健康で活力ある生活を送るための体力向上の推進
- ◆ ワーク・ライフ・バランスを大切に業務改善の推進
- ◆ 地域の教育力を活かした事業の推進（学校支援地域本部事業など）

【目指す子ども像】
 〈知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成〉

知	進んで学ぶ子	【自ら学び、自立しようとする子ども】
徳	思いやりのある子	【心豊かに、支え合う子ども】
体	たくましい子	【元気で明るく、よく働く子ども】

【具体的な子ども像】 ～凡事徹底～
 自ら学び、自立しようとする子ども
 ○自ら学ぼうとする子 ○自分のよさに気付く子 ○自分の将来を考えようとする子
 心豊かに、支え合う子ども
 ○気持ちよくあいさつする子 ○助け合い、協力する子 ○友達を思いやる子
 元気で明るく、よく働く子ども
 ○運動に親しむ子 ○正しい食生活を身につける子 ○他人のために行動する子

【目指す学校像・教職員像】

○笑顔溢れる美しくきれいな学校	●子どものよさを見つけ自立へ導く教職員
○確かな学力の定着を目指す学校	●自己研鑽に努め、授業力向上を目指す教職員
○保護者や地域と連携し信頼される学校	●保護者や地域と連携を惜しまない教職員
○組織としての力を発揮する学校	●報・連・相を適切に行い、組織で機能する教職員

「学校教育目標」具現化に向けての具体的方策 ⇒ 大切にしたい3つの要素 I「学力」(伸びようとする力) II「規律」 III「自己肯定感」

＜Ⅰ 学力＞【学力向上に向けた職員のチームづくり】

- ① 主題研究の推進（特別活動の研究推進）
- ② 社会の変化に対応する資質や能力の育成（外国語活動、情報処理、道徳科先行実施、主体的・対話的で深い学びの育成）
- ③ 合理的配慮を含めた特別支援教育の充実（ケース会議の実施等）
- ④ 職員研修の充実（若年研修等〈教職経験5年未満〉、OJT）
- ⑤ 連携・協働を意識したカリキュラムマネジメントの推進
- ⑥ 学習機会の拡充と学習内容の定着（意欲的に取り組む家庭学習の工夫、朝自習、パワーアップタイムの活用）
- ⑦ 言語活動の充実、学び合う授業の創造、体力の向上

＜Ⅱ 規律＞【規律ある学校生活づくり】

- ① □子どもの居場所づくり（担任、学年主任、生徒指導主任、養護教諭、管理職等による組織的な連携と取組）
- ② 生徒指導の充実（共通理解と同一対応、早期発見と早期対応、危機管理意識の高揚と問題事象への緊急対応）
- ③ 学校のきまり、学びの約束の徹底（あいさつ、言葉づかい、教室移動等）
- ④ 清掃指導や給食指導の充実（心の交流の場）
- ⑤ 職員の危機管理意識の高揚（不祥事防止、体罰、飲酒運転、ハラスメント等 安全対策 不審者対応、自然災害等）
- ⑥ 地域の教育資源や教育力の有効活用（学校支援地域本部事業）

＜Ⅲ 自己肯定感＞【学級・自己目標達成の環境づくり】

- ① 支持的風土に支えられた学級づくり（学級集団づくり）
・人権意識に支えられた互いのよさを認め合う学習活動の充実
・目標の設定（短・中・長期）話し合い、振り返り、認める
- ② 地域と連携する学校（学習参観、開放週間、学校評価等）
- ③ 家庭と連携する学校（学級懇談会やPTA活動等への協力）
- ④ 「チーム学校」としての組織的な取組（スクールカウンセラー、SSW、子ども総合センター等）
- ⑤ 情報の発信（学校HP、学校だより、学年・学級だより 家庭訪問等）

＜道徳＞

- 「考え・話し合う道徳」の授業を推進する
- 自立心・自律性・自尊感情を育てる指導の充実（励まし、認める評価）

＜教科指導＞

- 基礎的・基本的な内容の習得と活用力の育成（書く、話す等）
- 生きる力の基盤となる「言語活動」の充実と学び合いの基盤づくり

＜特別活動＞

- 学級活動の充実（学級会を通しての自治的な実践と自己決定の重視）

＜外国語活動・外国語科＞

- 新学習指導要領の目標を踏まえた実施

＜総合的な学習の時間＞

- 桜丘小学校のプランを模索し、探究的な学習に取り組む

＜健康教育＞

- 発達段階に応じた系統的な健康・発育指導と日常の健康観察の徹底
- 健康教育の視点から各教科との関連を図る

＜食育＞

- 給食指導、学級活動を中心に学年に応じた食習慣の形成

＜生徒指導＞ 問題行動の早期発見と早期対応を基盤に

- 関連機関との連携及び、いじめ・不登校対応（アンケート毎月1回）
- 教育相談の充実（管理職、生徒指導主任、学年主任、担任、保護者）

＜人権教育＞ 教育活動の基盤であり、全教育活動の中で行う

- 学校や地域の実態をふまえて人権感覚を育てる
- 人権・同和問題の正しい認識と実践力に向けた指導内容の工夫

＜特別支援教育＞ 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と支援

- 特別支援学級と連携し、適切な指導・支援を図る
- 校内支援体制の充実と情報の共有化、関係機関との連携

＜安全・防災教育＞

- 様々な災害を想定し、災害発生時の適切な行動がとれる児童の育成

＜キャリア教育＞

- 体験を通して、自分将来を考える指導の工夫

＜学校図書館教育＞

- 学習センター、情報センターとしての環境整備

＜環境教育＞

- 地域を愛し主体的に参画する態度の育成

＜情報教育＞

- 情報活用能力の育成
- 情報モラルの指導の徹底（SNS対応等）
- ICT機器を活用した指導の工夫

＜国際理解教育＞

- 自文化の理解と異文化の尊重を目的とした体験的な活動の充実

＜福祉教育＞

- 生命を尊重し、他人を思いやる心を育む
- 様々な人と共に生きようとする態度を育む

「チーム桜丘」として大切にしたいこと！ ○服務規律の順守（届出、許可、「報・連・相」等） ○来校者への対応（温かいマナー） ○電話対応「桜丘小の〇〇です」「外部からの児童への対応」
 ○机上整理 ○遅刻・欠席対応 ○確実な事務処理・提出期限の厳守 ○守秘義務 ○不祥事防止 ○時間を守る ○全職員で「育てる」 ○温かいコミュニケーション 等